

**杏林大学大学院保健学研究科
平成28年度春学期研究報告会プログラム**

7月15日(金) 会場:B206

在学生の研究報告:修士は発表10分、質疑7分(計17分)/博士は発表15分、質疑10分(計25分)

時間	演者	分野	指導教員	題名	座長
9:00-9:05	大瀧研究科長 開会の辞				
9:05-9:30	保博3S 小濱 優子	保健学・救急救命学	照屋	夜間勤務を行う看護師の健康維持・増進に関する研究	川村
9:30-9:47	保修3S 大屋 千鶴	保健学	太田	地域在住高齢者のソーシャルサポートと運動の開始、継続、停止(中断)の関連について	川村
9:47-10:12	保博5S 田村 陽介	臨床検査・生命科学	川澄	ab initio計算によるパニコイドの立体配座と反応性に関する研究	四倉
10:12-10:15	休憩				
10:15-10:32	保修3S 小嶋 宏紀	臨床工学	嶋津	電気メス放電時のメス先接触状態と電界強度変化の測定解析	小林(治)
10:32-10:57	保博5S 水島 岩徳	臨床工学	嶋津	NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)における気流動態の解析	小林(治)
10:57-11:14	保修3S 武藤 直弥	リハビリテーション科学	丹羽	糖尿病ラットにおける前庭神経核の形態変化について	八並
11:14-11:20	休憩				
11:20-11:45	保博3S 大城 直美	リハビリテーション科学	丹羽	慢性期I型糖尿病モデルラットにおける腹壁筋を支配する運動ニューロンの形態変化について	八並
11:45-12:10	保博3S 玉木 徹	リハビリテーション科学	丹羽	糖尿病に起因する筋の機能障害と組織学的変化	八並
12:10-12:35	保博3S 長島 泉	リハビリテーション科学	下田	手の心的回転課題を用いて評価した一人称的運動イメージ能力の加齢による変化	八並
12:35-12:40	休憩				
12:40-13:10	望月 秀樹 教授	特別講義「わが国の要支援高齢者に対する介護予防における方法論に関する研究」			丹羽
13:10-14:15	昼休み				
14:15-14:45	久原 重英 教授	特別講義「MRIの撮像時間短縮技術 - 高速化～自動化技術(心臓MRIを中心として) -」			山本(智)
14:45-14:50	休憩				
14:50-15:15	保博5S 鈴木 優喜子	リハビリテーション科学	下田	AMPS(AMMSEやADL・IADL量の評価で捉えられない認知症者の特徴を捉えることができるのか	丹羽
15:15-15:40	保博5S 澁井 実	リハビリテーション科学	下田	統合失調症患者における手の心的回転課題遂行能力と精神症状・認知機能・社会生活能力との関連	丹羽
15:40-15:45	休憩				
15:45-16:10	保博5S 原田 祐輔	リハビリテーション科学	下田	脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題遂行能力の検討 - 損傷半球により反応時間と正答率に差異はあるか -	丹羽
16:10-16:27	看修3S 榎本 晃子	実践看護科学	大木	被災高齢者の生活再建過程におけるレジリエンスの促進要因	中島(恵)